

獵人荘の怪事件

THE MYSTERY OF HUNTER'S LODGE

1991年作品

製作:ブライアン・イーストマン

監督:レニー・ライ

脚色:T・R・ボウエン

日本語版プロデューサー:里口 千

日本語版演出:山田 悦司

日本語版翻訳:宇津木 道子

出演:

エルキュール・ポワロ … デビッド・スーシェ/熊倉 一雄

ヘイスティングス大尉 … ヒュー・フレイザー/富山 敬、安原 義人

ジャップ主任警部 … フィリップ・ジャクソン/坂口 芳貞

※ ※ ※

ゾイ・ヘイバリング … ダイアナ・ケント/田島 令子

ロジャー・ヘイバリング … ジム・ノートン/樋浦 勉

アーチャー・ヘイバリング … ショーガン・シーモア/伊藤 和晃

ジャック・ストッダード … ロイ・ボイド/緒方 賢一

ハリントン・ペイス … バーナード・ホースフォール/大塚 周夫

エリー … ヴィクトリア・アルコック/木藤 聡子

ジョン … クレア・トラヴァース=ディーコン/さとう あい

フォーガン巡査部長 … クリストファー・スクーラー/千田 光男



©Carnival Films & Theatre Ltd 1990

ポワロとヘイスティングスは、ライチョウ狩りに出かけた。ヘイスティングスが友人のロジャーから、彼の叔父ハリントン・ペイス所有の獵場で行う狩りに招かれたのだ。その夜、獵人荘から客人が去り、ロジャーがロンドンのクラブで一晩過ごすために出かけた後、ハリントンが彼を訪ねて来たヒゲの男に射殺される。盗まれた自転車、正体不明のヒゲの男、そして消えたニセ家政婦…。ポワロは風邪による熱にうなされながらも事件に挑む。

◆アレンジの味わい

荒野を舞台に、富豪の趣味であるライチョウ狩りをまくらに描かれ、英国情緒の窺える一編です。序盤で美食につられて雪の荒野に晒された挙句、風邪でグズリながら調査したり、エピローグではケレン味たっぷりの駅員やジャップ相手に悪態をつくなど、いかにもなポワロのコメディ・リリーフもたっぷり。

しかしながら本話の原作では、ポワロは始まりから既に風邪ひきで伏せており、ユニークな駅員も登場しません。つまり、前述の風情やユーモアは脚色におけるアレンジ。小説の緻密さとはまた違う、ドラマならではのタッチを存分にお楽しみ下さい。

◆新たな杖

広がる荒野を眼前に、寄り掛かるように腰掛けてガイドブックを読むポワロ。準備するプロセスが省かれているので、彼が何に座しているか少し分かりにくいかもしれませんが、車から降りた際に手にした少し大きいステッキが、今ではステッキ・チェアなどと呼ばれている簡易椅子を兼ねたステッキです。握り部分を広げ座面とし、杖先を地に突き刺し固定して腰掛けます。

これもポワロ所蔵のステッキの一種。長編ドラマ『もの言えぬ証人』では、前述の準備プロセスの描写もしっかりと見られます。

◆親友ヘイスティングス

ヘイスティングスを獵に招いたロジャー・ヘイバリングに扮するジム・ノートンは、日本のファンになじみ深いところでは、映画『ハリー・ポッターと秘密の部屋』(2002)でも顔を見せている、アイルランド出身の俳優。ユニークなところでは、本話の近年に、有名な米のSFドラマシリーズ『新スター・トレック』でホログラムのアルベルト・アインシュタインを演じています。

彼の日本語を吹き替えているのは実力派俳優の樋浦 勉氏。親友ヘイスティングスを事件の舞台となる我が家へ誘う役としては『スタイルズ荘の怪事件』以来。登板としては『ジョニー・ウェイバリー誘拐事件』から数えて3度目となるおなじみです。